

令和2年4月期 臨時教育委員会議・会議録

- ・開催日時 令和2年4月2日（木）
午前10時00分から午前10時40分まで
- ・開催場所 羽曳野市役所 別館 3階 特別会議室
- ・出席者 教育長 麻野多美子
教育長職務代理者 金銅真代
委員 多田謙司
委員 新熊和彦
委員 奥野貞一
- ・説明者 教育次長 上野敏治
学校教育室長 東浩朗
生涯学習室長 藪田英友
世界遺産・文化財総管理室長 南里民恵
学校教育室副理事 渡辺正治
学校教育課長 前田幸章
学校教育課課長補佐 山下浩昭
- ・事務局 教育総務課長 小川有紀子
教育総務課主幹 芝池淳子
- ・議事日程
 - 日程第1 会議録署名委員の指名について
 - 日程第2 議案第1号
令和2年度 羽曳野市教育活性化アクションプランについて
《資料1》
 - 日程第3 その他

開会：午前 10 時 00 分

- 会議に先だち、教育総務課長より次のとおり口頭にて報告がありました。

《教育総務課長》

4 月 1 日付の人事異動におきまして、川地学校教育室長が河原城中学校の校長として学校現場に戻られ、学校教育室長には、新たに東室長が着任いたしました。また、生涯学習室長は、以前、上野教育次長が兼務をしていましたが、今回、藪田室長が着任しました。次に、今回、組織改革により、世界遺産・文化財総合管理室が教育委員会事務局内に設置されました。それに伴い、世界遺産・文化財総合管理室長に、南里室長が着任いたしました。各課の課長をはじめ、詳細につきましては、後ほど改めてご報告させていただきます。

[教育長 開会の挨拶]

日程第 1 会議録署名委員の指名について

教育長において、多田委員を指名しました。

日程第 2 議案第 1 号

令和 2 年度 羽曳野市教育活性化アクションプランについて

《資料 1》

- 学校教育課課長補佐から、「令和 2 年度 羽曳野市教育活性化アクションプラン」に基づき、本年度の内容と変更等について、説明がありました。

《学校教育課課長補佐》

このアクションプランは年度当初に「取組みの重点と指示事項」として、教育委員会がすべての幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校の校園長に示すものです。

前回の教育委員会議後、委員のみなさまからいただきましたご意見をもとにお示ししております。

今回の変更点としまして、「学校園、そして先生方が学校での教育活動に応じて、この冊子を手に取り、確認していただけるよう」に構成を大きく変

更しております。「読みやすく、わかりやすく、そして、今後内容等を変更しやすく」と意識しました。

全体を通して、「、」（読点）、「・」（中点）の取扱いの整理、「教育委員会」という標記の統一、主語を明確にするなど変更しております。

次に、内容の変更箇所について説明させていただきます。

○12ページをご覧ください。

「（１）人権教育の推進」の４項目目についてですが、いじめ・暴力行為への対応が求められているという認識のもと、学校においては、単に生徒指導事案としてではなく、人権教育・支援教育等のあらゆる視点をふまえながら対応することを学校に求めています。同時に、教員と同じ教育者として、保護者との課題共有を密にし、相手の視点に立った共感的な対応・指導を心がけることをさらに強調していきたいと考えております。

○16ページをご覧ください。

「（３）校内支援体制の整備・充実」の３項目目についてですが、「ともに学び、ともに育つ」教育の推進の中で、日本語指導を必要とする児童・生徒については、学校生活への円滑な適応、進路実現等が図られるよう、国際理解の視点に立った指導を進め、学習言語としての日本語習得が図られるよう学校に求めています。これまで以上に「子ども一人ひとりの理解が深まるよう、学校全体で多文化共生の取組みを進めること」を強調していきたいと考えております。

○17ページをご覧ください。

「（１）対等で豊かな人間関係づくり」の２項目目についてですが、これまでは、「社会体験活動の場を通じた個と社会の関係について、適切な意識づけを図ること」と記載しておりましたが、「社会体験活動」の意味等を先生方がより共有するために、「生活科や総合的な学習の時間、特別活動をはじめ、各教科等、学校の教育活動全体を通して体験活動の充実を図ること」と変更しております。

○また、22ページには「小学校外国語教育について」、23ページには「小学校プログラミング教育、情報活用の関係」と「SDGs（持続可能な開発目標）」など、小学校において、今年度から本実施となります新学習指導要領で、新たに盛り込まれました項目を修正・追記することで、学校及び先生方により意識を持って、取り組んでいただけるよう強調しております。

○次に、24ページをご覧ください。

「各学校園における具体的な取組み指標」については、年間通して何度か学校訪問し、校長からヒアリングして把握するほか、各担当者をあつめての研修、連絡会などで把握しています。

その中で、今回、この指標が「より市教委と学校園との進めていくべき方向性を共有する」ためのものになるよう、項目を大きく精査し、前回の25項目から10項目にしました。

今後、その項目も普遍的なものもございますが、その年により強調したいものなどは変更していきたいと考えています。

《多田委員》

19ページ「(2) 保健指導の推進」の2項目目ですが、インフルエンザやノロウイルス等の感染症についての記載がありますが、昨今の状況を受けて、新型コロナウイルスの感染症対策についても、意識を高めるためにもう少し充実させた記載の方がいいのではないのでしょうか。

《学校教育課課長補佐》

昨今の状況も鑑み、3項目目として、「感染症等防止のため、手洗い・うがいの励行を徹底すること」と追記することで、より強調してまいります。

以上、本年度の内容と変更等の説明を経て、議案第1号は承認及び可決することに決定しました。

日程第3 その他

- (1) 学校教育課長より、令和2年度学校園の管理職の配置について報告がありました。
- (2) 事務局より、令和2年4月1日付の人事異動について報告がありました。
- (3) 事務局より、今後の日程について連絡がありました。

教育長より次回の4月定例委員会議を、4月17日(金)に予定することを通知しました。

〔委員長 閉会の挨拶〕

閉会：午前 10 時 40 分